

令和7年2月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	17	議席 番号	8	氏名	山 藤 陽 子 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1	安心して搾乳できる環境について			<p>出産後の女性が、母乳の保存などで搾乳したいとき、ためらわず周囲の理解を得ながら授乳室を1人で利用できる配慮が必要である。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 公共施設の授乳室の数を伺う。</p> <p>(2) 過去に搾乳のため、授乳室を使用したいという相談等があったか伺う。</p> <p>(3) 今後、女性が安心して搾乳ができる場所を設置する、又は授乳室を利用できるようにする予定はあるのか伺う。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	災害時の妊産婦と母子の支援について（災害協定、母子避難所）			<p>今年、阪神淡路大震災から30年、東日本大震災から14年、能登半島地震から1年がたった。過去の震災の教訓がまだまだ生かされていないと感じる。2024年11月22日に静岡大学ジェンダー研究所主催、静岡大学白井千晶教授の「災害時の母子支援」について勉強会で学んだ。12月の防災訓練では0歳の赤ちゃんを連れて参加された母親2人に被災した時に不安なことを聞いたところ、こどもの命を守るために真剣に考えていた。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 災害時、被災した妊産婦、母子へ具体的な支援内容を伺う。</p> <p>(2) 避難所の居場所の確保、避難所生活が長期化した時のケアを伺う。</p> <p>(3) 2018年3月23日、静岡県が一般社団法人静岡県助産師会と災害時等の母子支援協定を締結した。2024年11月現在、静岡県内35市町のうち、24市町が同協定を締結している。当市は同協定を締結していないが、今後、締結する予定はあるのか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
3	災害時に元気をくれる備蓄食の栄養バランス			<p>被災地ではまず、温かい食べ物が食べたいという声が多に多い。また、甘いものや普段自分が好きなものを口にした時にホッとできたという声も聞く。災害時の食は体の栄養とともに心の栄養にもなる。平時から自分はどんな備蓄食を用意すればいいのか、理解し備えることが重要である。そこで以下伺う。</p> <p>(1) 当市の備蓄食の種類を伺う。</p> <p>(2) 備蓄食をローリングストックする際に栄養バランスを考えた「エネルギーの元になる食べ物」、「体をつくる元になる食べ物」、「体の調子を整える元になる食べ物」をバランスよく備蓄することが必要と考える。備蓄食の周知方法を伺う。</p> <p>(3) 避難生活で誰もが作れる災害食レシピを市民から公募し、コンテストを行い、冊子を作成して各避難所に常備してはどうか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長